

七宝焼き

七宝焼きは、素材の上にガラス素材の七宝絵の具をのせ、炉に入れて焼くことで、オリジナリティーのある作品を創造する活動である。自らの手で作品を作り上げる喜びを体験することができるとともに、作り上げた作品を見て研修の素敵な思い出を振り返ることもできる。

- 所要時間…2時間以上
- 対象…小学校高学年以上
- 定員…40名
- 指導…前半に職員の説明あり

○団体が用意するもの

雑巾・ごみ袋・新聞紙・ティッシュ
ブローチ（購入：590円）または
キーホルダー（購入：520円）



○自然の家が用意するもの

七宝焼き材料・電気炉・接着剤・おけ



※上記の道具は中研修室に置いてあります。

○活動手順

【活動前】

- ・職員が開始1時間以上前から電気炉のスイッチを入れる。
- ※800℃以上の高温になるため、絶対に近づかない。

【活動時】

1. 道具を準備する。
- ・グループ（4～6人程度）になり、新聞紙を敷く。

【グループに配るもの】



水入れ・皿（数枚）・おけ・新聞紙・接着剤

【個人に配るもの】



金網・木の棒・紙やすり
キーホルダー（またはブローチ）

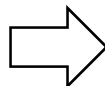
2. 職員が活動手順を説明する。

3. 銅板の両面にやすりをかける。
- ※できるだけ銅板ではなく、ふちを触る。



4. 銅板の裏側（凹面）に2mm程度ゆう薬をぬる。
- ※ゆう薬がつかないように袖をまくる。ゆう薬が目に入らないように注意。

再利用のゆう薬を使う。
銅板に乗せて垂れなければOK。水の入れすぎに注意！



ふちは少し残す。

職員が指導

引率者が指導

5. ひっくり返して、表面（凸面）に
2mm程度ゆう薬をぬる。
※細かい模様は上手にできない可能性あり。



1色使い終わったら木の棒を水で洗い、
ティッシュでふいて次の色を使いましょう。

6. 模様が完成したら、金網に乗せて
引率者に渡す。



7. 引率者は皮手袋をし、火ばさみで金網をつかんで電気炉の中のクラの上に置く。



クラ



1分程度待つ様子を見てください。
まだ粉っぽければ、さらに焼いてください。
庫内の温度によって焼き時間が変わります。

8. 全体があめのように赤黒くなったら
金網ごと取り出して冷ます。
※取り出した七宝焼きはとても熱いので絶対に
触らない。電気炉の隣にあるブロックに
置く。



このようにとろっ
となったらOKです。

9. 冷めたら、キーホルダーの接着面
にやすりをかけて接着する。



10. 活動終了後、片付けと掃除をする。
・ゆう薬は1つのおけに集めて、上澄みの水を捨てる。
・七宝焼きの道具は棚に戻す。

大研修室と中研修室の
間に掃除用工具箱があり
ます。
ほうきでごみを集め、
掃除機で吸い取って
ください。



Youtube「日高 sun 太ちゃんねる」でも動画を公開中。
左のQRコードを読み込むか、「日高 sun 太ちゃんねる」で検索してください。